

ご存じですか 特別児童扶養手当

☎ 富士見町教育委員会 子ども課 子ども支援係 ☎62-9237

特別児童扶養手当は、精神もしくは身体に障がいのある20歳未満の児童を家庭で養育している保護者に支給されるものです。ただし、一定額以上の所得がある場合は支給停止となります。

また、児童が施設に入っていたり、障がいを理由として公的年金を受けることができる場合は支給されません。

申請に必要な書類や、相談等がありましたら、係までご連絡ください。

対象児童

20歳未満で、身体もしくは精神に障害等級が政令(特別児童扶養手当等の支給に関する法律施行令)で定める1級または2級に該当する程度の障がいのある児童

手当の月額

(令和4年度の額)

区分	児童1人につき
1級	52,400円
2級	34,900円



※所得による支給制限：

受給者本人、その配偶者または扶養義務者(生計を同じくしている父母・兄弟など)の前年の所得が下表の限度額以上である場合は、その年度(8月から翌年7月まで)の手当の支給が停止となります。

所得制限限度額表

扶養親族等の数	受給者本人	配偶者、扶養義務者
0人	4,596,000円未満	6,287,000円未満
1人	4,976,000円	6,536,000円
2人	5,356,000円	6,749,000円
3人	5,736,000円	6,962,000円
4人	6,116,000円	7,175,000円
5人	6,496,000円	7,388,000円

児童体験入学

町内3小学校の6年生が、リモートで富士見中学校の「体験入学」に参加しました。

富士見中の校長先生のお話の後、先輩の1年生が1日の学校生活の様子を劇を交えながら紹介したり、部活動や生徒会、服装、授業についてなど、様々な説明をしてくださいました。中学校の校内や、清掃前の黙想の様子などもVTRで紹介してくれて、6年生はこれから始まる中学校生活を想像することができました。



「教育のまち・子育てのまち・学び続けるまち富士見」を目指して

富士見町

教育委員会だより

第195号

令和4年3月1日発行
富士見町教育委員会編集
☎62-9235
kodomo@town.fujimi.lg.jp

3月
定例教育委員会
3月14日(月)
午前9時40分～
役場2階 教育長応接室

子どもに関する
なんでも相談
月曜日～金曜日
午前8時30分
～午後5時15分
☎62-9233
家庭・教育・子育て
相談員

3月20日
(第3日曜日)は
家庭の日・
家庭読書の日

ご卒業、ご卒業される皆さん、おめでとうございます🌸



はじめの一歩 富士見中学校2学年集会より 2022.1.17(月)

こんにちは。今年もよろしくお願いいたします。家庭教育相談員として教育委員会子ども課に勤務している名取です。多様性の時代と言われるこの頃ですが、昨年度末まで学校に勤めてきた経験を活かしながら、富士見町の子どもたちに寄り添うことが、今の私の務めであります。

「すべての子どもたちを大切にする教育」どの子にも未来を託す教育の土台をつくること。そして、人の為に尽くせる子どもたちを育てることのお手伝いができるように、日々町内の学校にお邪魔しています。皆さんは、かけがえのない存在です。かけがえのない皆さんが安心して学び、育っていくために、“今”ある姿をとらえて、よりよい成長を願い、関わりながら、直接・間接・目と耳と心と全身で見守ることを大切にしていきます。

「すべての子どもたちを大切にする教育」富士見町に住む大人が責任をもって、考えていかななくてはなりません。町民みんなで、もっともっと共に学び合い、共に育てていくことをめざしていきたいものです。富士見町の自然・文化・産業・気候・風土等、私たち富士見町民の強みとなるものすべてを活かして、取り組めるといいですね。まずは、我々大人が率先して、人間力の礎となる「挨拶」「感謝」「身の回りを常にきれいにする」等を皆さんと共にする。単純な事ではありますが、面倒なことをやることの格好良さを伝え、一緒に取り組んでいくことが、全ての子どもたちを大切にするに繋がっていくのだと信じています。

そして、どんな社会でも通用する人を育てる教育を大切にしていきたいのです。

さて、皆さんにとっての元気の秘訣は何ですか？私の元気の秘訣は、一つ目が笑顔です。「笑顔は、何物にも変わらぬ特効薬ともいわれます。」笑うから楽しい。笑顔は周りも楽しくする。パッション・パワー・ポジティブの3Pが生まれる笑顔です。いろいろな考え方があるかと思いますが、表向きにはニコニコしながら、喜怒哀楽を内に秘め、内面では一生懸命、命がけで生きていきたいものです。



二つ目は大きな声で挨拶。大きな声を出すためには息を吐くこと。声を出すための新しい新鮮な空気をいっぱい体内に入れて、大きな声で挨拶します。元気の源、新しい空気をいっぱい取り込もう。挨拶して返事が返ってこなくても、OKです。挨拶をし続ける事。必ず、僅かでもそのうちに、たった一人でも、返してくれる人がいる。その瞬間、繋がったと感じうれしくなります。周囲に見返りを求めずに、一日一日本気で挨拶をやり続ける事。一人が一人ずつやってみると、挨拶の輪が広がり、きっと自分にもいいことがあると思います。挨拶に限ることなく、自分にとって「面倒なこと」をやることの「格好良さ」が実感できる日が必ずあります。

ストレスのない人生はあり得ません。どんな社会にも通用する「人」としての底力は「礼に始まり礼に終わる」挨拶は大切なバロメーターです。周囲に感謝の気持ちを持つことや、ゴミを拾って捨てること、身の回りを常にきれいにすること等も単純なことではありますが、そこにこそ大事な、人間力があると思います。

三つ目が、細目に動くこと（思ったら行動すること、やってみる、試してみる）「回遊魚」と呼ばれる魚のなかには、「眠っている間も泳ぎ続ける」と言われる種類がいます。その理由は「泳いでいないと呼吸ができない」から。動きを止めたら息ができない……まさしくそんな“回遊魚”のように二度とない人生を、毎日息をつく暇もなくアクティブに飛び回りたいと思います。

さて、いよいよ中学校生活最後のこの一年を、自分の為に徹底して過ごしましょう。何もしないで後悔しないこと。何事も始めることに遅いことはないと思います。そこからいかに熱中して本気で取り組むかではないでしょうか。「本気の先に本物の喜びや楽しさがある！」と思います。

念ずれば花開く！みんなは一人ぼっちじゃない。家族はもちろん、仲間たちと共に絆を深めながら歩いていこう。「実は」みんなの成長が、家族の元気の源なのです。

「自分の未来を創るために」人間力を磨き、笑顔で未来の扉を開いていこう！挨拶と行動力で、寅年だけに！Let's try！“トラ”イ。みんなの笑顔が見“タイガー”！



町では家庭・教育・子育てに関する相談を行っています。 (子ども課 家庭教育相談員 名取義仁)